

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)BRANCH茅ヶ崎(H街区)	階数	地上4F
建設地	茅ヶ崎市浜見平496番8	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	来客年間300万人、従業員180人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,745 時間/年
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年11月16日
敷地面積	9,714 m ²	作成者	株式会社 昭和設計
建築面積	6,417 m ²	確認日	2015年11月16日
延床面積	17,478 m ²	確認者	株式会社 昭和設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 98%
 ③上記+②以外の 98%
 ④上記+ 98%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 省エネルギーに努めつつ、施設管理者及び不特定多数の建物利用者の快適性も確保するよう配慮しています。		景観に配慮し、緑地や建物の存在感を抑える工夫など、隣接する松尾川幹線緑道との一体的な空間整備を行いました。
Q1 室内環境 建築基準法規制対象外となる建築材料をほぼ全面的に使用し、化学物質汚染に配慮しています。換気についても建築基準法及び建築物衛生法を満たす換気量を計画しています。	Q2 サービス性能 維持管理、清掃性に配慮した内外装の計画としています。また、バリアフリー法の移動等円滑化基準を満たす計画です。職員及び利用者双方にとってのサービス性能をそれぞれ向上させています。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を極力多く確保し、特に視覚的に効果的な壁面緑化を積極的に採用しています。地域性・アメニティに配慮して環境の向上に寄与する計画としています。
LR1 エネルギー 設備システムの高効率化により環境負荷を低減しています。LED照明の採用など省エネルギー化に努めています。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用及び雨水利用を行うことで水資源の保護に取り組んでいます。消火剤はODPO、GWP50以下のものを採用し、オゾン層破壊に配慮しています。	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインのチェックリストに基づき、屋外照明や広告物照明の周辺地域への光害を抑えるよう配慮しています。発生騒音に配慮した設備機器配置計画及び消音対策を実施しています。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される